

平成 27 年 9 月 11 日

**中小企業成長支援ファンド
健康・医療事業分野投資促進出資事業**

「ウイズ・ヘルスケア日本 2.0 投資事業有限責任組合」への出資について

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)は、健康・医療事業分野投資促進出資事業(中小企業成長支援ファンド)において、株式会社ウイズ・パートナーズを無限責任組合員とする投資事業有限責任組合、『ウイズ・ヘルスケア日本 2.0 号投資事業有限責任組合』(以下、「本組合」)に対し、40 億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

本組合は、再生医療に対する国家的な取り組みを背景に、次世代産業として有望視されている再生医療分野の発展に貢献することを目的に、再生医療関連の有望な企業、バイオベンチャー企業、医療ヘルスケア関連企業への投資を行い、ハンズオン支援を通じて投資先企業の育成に努めながら企業価値の向上を目指すファンドです。

本組合は、中小機構出資分を含め総額 122 億円のファンド規模となります。無限責任組合員は引き続き出資者の募集活動を行い、ファンド総額を拡充していきます。なお、中小機構は本組合の拡充にあわせ、最大で 60 億円の出資を行う予定です。

引き続き中小機構では、全国 9 カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部ファンド事業課 (古田、石澤)

住所：〒105-8453 東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル

電話： 03 - 5470 - 1570 (ダイヤルイン)

◆「ウイズ・ヘルスケア日本 2.0 号投資事業有限責任組合」の概要

- 「ウイズ・ヘルスケア日本 2.0 号投資事業有限責任組合」は、株式会社ウイズ・パートナーズ(東京都港区、代表取締役 CEO:安東俊夫)を無限責任組合員とする投資ファンドです。
- 株式会社ウイズ・パートナーズ(旧 CSK ベンチャーキャピタル(株))は、ファンド運営等を目的として平成 3 年 5 月に設立されました。平成 22 年 9 月にCSKグループから離れ、独立系運用会社なっています。
- 本組合は平成 23 年 4 月に設立した「ウイズ・ヘルスケア PE1 号投資事業有限責任組合」の後継ファンドとして、前号ファンド同様に、バイオベンチャー、医療ヘルスケア関連企業を主たる投資対象とし、投資先経営陣とゴールを共有し、事業開発、IR など当社のリソース、ネットワークを活用しながら、日本発グローバル・バイオフーマ企業の誕生をサポートしていきます。

(スキーム図)

